

挿絵画家 morita MiW × タオルメーカー 楠橋紋織のコラボブランド!  
MiWさんのちょっと不思議であったかな絵が  
タオルやハンカチ、くらしのアクセントになるモノタチに映しだされます。  
毎日がもっとオシャレにハッピーに。しあわせの時間が流れます。




モコモコ  
ドアップ  
ハンカチ

モコモコパイルに刺しゅうがポイント。  
2通りの風合いを楽しめるガーゼ・パイル織りです。  
あなたはどの子と目が合いましたか。

ガーゼパイルハンカチ 綿100%  
[サイズ] 約25cm×25cm 各800円(消費税別)  
Designed by Kusubashi Mon-ori in Japan, Made in China.

『草原ウサギ』

あのたくさん花の咲く草原は  
今もあるのでしょうか。  
ピョンピョンと  
長い耳をなびかせて  
跳ねまわっていた  
ウサギのいる  
美しい草原。  
またアナタと  
花の冠をつくりたいです。



A-64789-86-Y

『雪山ライチョウ』

すっかり雪と氷ばかりになった  
あの山には  
その景色とおんなじ色の  
まるまる太ったライチョウが  
ぼってりぼってり  
暮らしておりました。  
苦手なモノは、  
実はねカミナリなんだそう。  
ここだけの秘密です。



A-64787-86-BE

『街角ネコ』

ねえねえねえ。  
そう呼び止めると  
振り向いたその子。  
シッポをグッと強気に立てて  
街路樹を鋭い爪で  
ひとガリリ。  
これからあの家に  
帰るのね。  
あったかいゴハンもらって  
ナニゴトもなかったように  
眠るんでしょう?  
朝の街角にて。



A-64788-86-G

『月夜ミズク』

閑かな閑かな三日月の夜。  
ミズクがひとり耳の羽根揺らす。  
時々鼻歌を謡う。  
ホホウ ホホウ ホホウ。  
月明かりが  
その声を照らす。  
淋しくないよ。  
そう云ったのは櫻の木。  
ゆったりと  
森の夜は更ける。



A-65589-86-PAP

『森林キツネ』

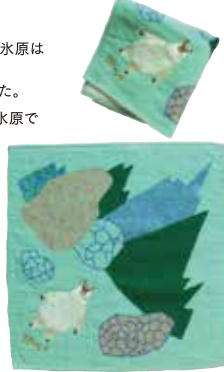
キツネは行くよ。キツネは行くよ。  
大きなシッポをユッサラリンと振って。  
キツネは行くよ。  
美しく悪戯な瞳を  
キラリンと光らせて。  
キツネは行くよ。  
自慢の声でケーンケーンと  
鳴きながらね。  
あの湖の向こうには  
きっと優しい友だちが  
待っているんだね。  
だからね、  
きっと行くんだねキツネは。



A-65590-86-GY

『水原シロクマ』

ギザギザしているその冷たい氷原は  
やっぱりちょっと淋しくて  
シロクマは溜め息をつきました。  
風がヒョウヒョウ吹くだけの氷原で  
シロクマは  
あんまり退屈だったので  
ちょっとだけ  
腰を振ってみましたの。  
ニョッ、とね。ニョッ、とね。  
なんだかなんだかシロクマは  
ちょっと楽しく  
なったような気がしてね  
ひとりてニヤッとしましたとき。



A-65591-86-G

『湖畔ペリカン』

可愛い桃色の羽根を揺らしてペリカンは  
この湖の縁を歩いておりました。  
ベタベタと鳴る水掻きの音は  
静かなここに楽しげに響くのでした。  
食べるものも、心地いい寝床も、  
自分と同じに美しい他の仲間も。  
この湖畔にはたっぷりと在る。  
そんな満足感に満たされた  
彼のクチバシは  
あくびと一緒に、  
それはそれは大きく伸びて  
膨らみました。



A-67067-86-PAP

『高原ヒツジ』

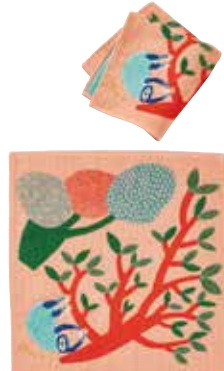
ぼっこりぼっこりと見える山の中腹に  
可憐で佳い匂いの花が  
咲き広がっておりました。  
フワフワモコモコの白い毛のヒツジは  
時々ここへ登ってきては  
その花々と話をするのが  
好きでした。  
ちょっと肌寒い  
その高原でしかけれど  
フワフワモコモコの  
あったかい毛でしたから  
ゆったり楽しく座ってね、  
陽が傾くまで  
風に吹かれておりました。  
ああ、いいキモチ。



A-67068-86-BE

『樹林ナマケモノ』

背の高い樹にぶら下がった  
そのナマケモノは  
こう云ったんだ。  
だったらアンタは  
なんで歩いているの?  
って。  
そういえば、  
「ジッとしていてイイね。」  
なんて云いながら  
なんでボクは  
ずっと歩いているんだろう?



A-67069-86-SP